



● 最新事情 薬剤部（中面） ● 北部病院からのお知らせ（裏面）

整形外科

最新事情



整形外科診療科長
教授 / 副院長
かわさき けいきち
川崎 恵吉

整形外科・診療科長の川崎恵吉です。地域の医療関係者の皆様におかれましては、日頃より当院の医療活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。地域住民の方々の健康を守るため日々尽力されていらっしゃる皆様の貢献に、心から敬意を表します。

超高齢社会を迎えた我が国にとって、大腿骨近位部骨折や骨脆弱性椎体骨折など骨粗鬆症に起因した骨折を診療する機会が増加しています。また、我が国の骨粗鬆症患者は約1500万人と推定されており、骨粗鬆症診療のニーズはますます高まっています。令和4年

度の診療報酬改定では、二次性骨折予防継続管理料の算定が開始され、当院でも当科の江守講師が中心となり令和5年より骨折リエゾンチームを創設致しました。



整形外科講師
えもり はるか
江守 永

このチームは、当院に入院された大腿骨近位部骨折や骨脆弱性椎体骨折など骨粗鬆症に起因した骨折を罹患された患者さんに対し、今後の「骨折の連鎖」を防ぐため、多職種連携のもと骨粗鬆症の治療を立案・介入していくことを目的としています。医師、看護師、薬剤師、理学療法士が連携し、患者さんの状態に合わせた最適な治療を提供しています。

令和6年からは、管理栄養士もチームに所属し、退院後の食生活の見直しを含め、骨粗鬆症のみならずロコモティブシンドロームの解消を目指します。

昨年、大腿骨近位部骨折を受傷され当科で治療を行なった患者さんのうち、合併症などの関係で治療の介入に至らなかった患者さんを除き、受傷時点では未治療であったすべ

での患者さんに骨粗鬆症の投薬治療を開始することができました。

しかしながら、骨粗鬆症の治療はQOLを維持するため、生涯にわたる継続的な治療が必要です。そのため、地域医療を担っていらっしゃる先生方とのシームレスな連携体制の構築が不可欠となります。

当科では、地域の先生方との連携を強化し、患者さんの継続的な治療を支援することで、骨粗鬆症による骨折の予防とQOLの向上に貢献してまいります。

地域医療機関のみなさまへ

地域の先生方との連携を深め、地域の皆様が豊かな毎日が送れるよう、今後も尽力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

薬剤部

最新事情

薬剤部は、常に「患者さんを主語にした業務を行う」を心がけています。1つ1つの業務が、患者さんの治療においてどのように貢献できているか、更に貢献を広げていくにはどのような業務ができるかを意識しています。薬剤部の職員は、准教授（薬剤部長）1名、講師4名、助教18名、技術職員8名、臨床研修薬剤師14名の合計45名で構成されています。今回は、当院薬剤部の特徴、地域との連携に関する取り組み、教育への貢献、社会貢献の取り組みについて紹介します。

1 外来、入院とシームレスな患者さんへの対応

○外来がん化学療法のより安全な実施を目指して

現在、当院では月に550件を超える外来がん化学療法を実施しています。薬剤師は、初回治療開始前に治療内容、副作用やその対策などを患者さん個々の日常生活に合わせて説明しています。また、かかりつけ医で処方されている薬を事前に確認し、相互作用の確認、治療中の疾患への影響の確認を行い、がん治療を行う医師と協議を行っています。また、今年度からは、がん治療に関連した認定資格を有する薬剤師が、医師の診察前に患者さんに面談し、副作用等の確認を行いカルテに記載するとともに、支持療法薬等の代行入力を実施しています。現在、月に150件以上の診察前面談（薬剤師外来）を実施しています。



薬剤師外来



薬剤師外来での面談

○安全な外来がん化学療法実施には保険薬局との連携も必要不可欠

外来がん化学療法では、支持療法薬の確実な服用、副作用発現時の対応などが重要となります。当院では、薬局から患者さんの副作用状況等を報告してもらうトレーシングレポートを積極的に報告してもらい、薬剤師外来でその内容を反映した面談実施、医師への処方提案等を実施しています。また、当院からもお薬手帳に治療内容の貼付（電子お薬手帳にも専用QRコードから取り込み可能）、副作用状況を記載した患者問診票を共有し、服薬指導等に活用してもらっています。

○母乳と薬相談外来の開設

妊婦の方の中には、疾患等の兼ね合いで出産後も常用薬を継続する必要がある方も多くいます。当院では、そのような患者さんに安心して出産後の育児を行ってもらうことを目的に、日本病院薬剤師会妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師が専門的知識をいかして、服薬指導を行っています。当院で出産される方を対象

に妊娠後期に面談を実施し、母乳育児と薬の服用について個別に説明を行います。更に出産後も病室を訪問し、医師や看護師と協働し、継続的にフォローアップを行っています。

○総合サポートセンターでの入院前面談

現在、入院前に実施される総合サポートセンターでの入院前面談では、薬剤師が手術前に休薬が必要な薬の確認、常用薬の確認を実施しています。必要時、処方薬の確認を保険薬局や処方医に確認を行っています。安全な入院治療の実施のため、ご協力をお願いします。



母乳と薬相談外来

○入院中の薬物療法の情報提供

入院時には、基本的に全入院患者さんに薬剤師が初回面談を実施し、持参薬の服用状況や入院中の継続の必要性を医師と協議しています。また、入院中の服薬指導、薬物治療管理に積極的に関わるとともに退院時にお薬手帳に入院中の薬物治療のサマリー、退院処方の内容を貼付しています。

2 大学病院として薬学教育・社会貢献に寄与する使命

当院は、薬学部を有する大学病院の中でも病院に勤務する教育職員の割合が非常に高く、准教授、講師、助教の教員が在籍しており、教育・研究活動に積極的に取り組んでいます。また、多くの専門・認定資格を有する薬剤師が在籍し（表1）、高度な薬学的管理の実施に取り組んでいます。さらに、多くの専門・認定資格取得のための研修施設認定を受けており（表2）、薬局や他病院から年間10名程度の研修者の受け入れを行っています。

表1 認定・専門薬剤師在籍状況（一部抜粋）

日本医療薬学会指導薬剤師	2名
日本医療薬学会専門薬剤師	4名
日本医療薬学会がん指導薬剤師	2名
日本医療薬学会がん専門薬剤師	2名
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師	3名
日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療専門薬剤師	2名
日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師	3名
日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師	1名
日本病院薬剤師会授乳婦・妊娠婦薬物療法認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター小児薬物療法認定薬剤師	2名
NST 専門療養士	2名
心不全療養指導士	1名
日本 DMAT 隊員	2名

表2 専門・認定薬剤師研修施設一覧

日本医療薬学会専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
日本薬剤師研修センター認定対象研修機関
日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修病院
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
日本緩和医療薬学会認定 地域緩和ケアネットワーク研修施設
日本緩和医療薬学会認定 緩和医療専門薬剤師研修施設

3 患者さんが安心して療養できる環境整備のために

薬剤部では、当院で患者さんが治療する期間は、その患者さんの療養生活全体の一部の期間に過ぎないことを常に意識し、患者さんの治療の全体像、退院後の生活を見据えた薬学的管理、服薬指導を心がけています。そのためには、地域の病院、福祉施設、保険薬局やクリニック、訪問看護ステーション等との連携は必要不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

北部病院からのお知らせ

1 緩和ケア病棟の面会制限を解除しました

新型コロナ感染による感染拡大を防ぐため、緩和ケア病棟入院患者さんへの面会制限を行っていました。10月より面会対象者を制限しないことになりました。面会対象者の制限、24時間、面会時間の制限はありません。引き続き院内感染を防ぐため、面会者の健康管理、病室での3密（密閉・密集・密接）を防ぐご協力をお願いします。詳細は入院時に病棟スタッフから患者さん家族へオリエンテーションさせていただきます。

状態変化時の面会者の宿泊は、患者さんの状態を考慮して対応していきます。患者さんと家族が安心できる環境を整えていくように努めてまいります。

2 地域医療連携フォーラムについて

第31回地域医療連携フォーラムを次のとおり開催し、講演会及び懇親会に、病院内外から109名の参加がありました。ありがとうございました。

日 時：2024年11月13日（水）19時15分から21時

場 所：昭和大学横浜市北部病院

講演1：アルツハイマー病の薬物治療

座長 ウェルケアはら脳神経内科 院長 原 一 先生

演者 メンタルケアセンター 准教授 富岡 大

講演2：意識障害に遭遇したら

座長 港北メディカルクリニック 副院長 高山 瑠衣 先生

演者 救急センター 准教授 加藤 昌人

次の地域医療連携フォーラムは、2025年2月13日（木）に開催を予定しています。

当院ホームページやチラシでご案内させていただきますので、ご参加のほどお願い申し上げます。

3 病診連携研修会の予定

名 称	内 容	日 時	開催場所	担当医師等・連絡先
第58回都筑区小児科医会 と昭和大学横浜市北部病院 との連携勉強会	講 演	2025年2月14日（金） 19：30～21：00	北部病院 西棟4階講堂	こどもセンター 渡邊 常樹 tsuneki5@med.showa-u.ac.jp
都筑区内科医会 地域連携勉強会	講 演	2025年2月26日（水） 時間未定	北部病院 西棟4階講堂	消化器センター内科 小形 典之 n.ogata@med.showa-u.ac.jp

4 月曜日祝日（国民の祝日にあたる月曜日）の対応

日 付	曜 日	休日名	対 応
1 月 13 日	月	成人の日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。 ※紹介状がない場合は選定療養費（8,800円）が別途発生する場合があります。
2 月 24 日	月	天皇誕生日 振替休日	

今年4月1日から病院名が変わります

昭和大学は昭和医科大学に校名を変更し、当院は昭和医科大学横浜市北部病院となります。地域医療機関の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。